

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 岡山県立岡山一宮高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒701-1202
岡山県岡山市北区櫛津221

E-mail :

Website : <http://www.itinomiya.okayama-c.ed.jp/itiko.htm>

児童生徒数：男子 589名 女子 442名 合計 1031名
児童・生徒の年齢 15歳～18歳

3. 実施活動 (下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。)

地球規模の問題に対する国連システムの理解

持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ()

そのほか ()

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

実施テーマに関連した研究旅行の実施。

フィリピン海外研修

(1) 事前研修

- ①英語研修 - 音声練習と環境やエネルギー問題をテーマとした英文教材を使って学習した。
- ②国際理解研修 - 訪問国について調べた内容をレポートにまとめ発表し、知識を深めた。
- ③自然科学研修 - 近年脚光を浴びている化石燃料を使わないクリーンエネルギーの利用について学ぶとともに、フィリピンで問題となっている社会問題とエネルギー問題の解決について理解を深めた。

(2) 研修旅行

フィリピン - バングイ風力発電所、サン・ローク・ダム水力発電所、地熱発電所見学、JICA フィリピン事務所訪問、MMSU 大学工学部生との交流、フィリピン大学附属高校訪問など

(3) 事後研修

事後研修実施レポート・ポスターを作成し、学校祭での展示・発表を行った。またスーパーサイエンススクール国際連携シンポジウムへ参加した。

韓国海外研修

(1) 事前研修

- ①英語研修 - 音声練習と学校設定科目「課題研究」で取り組んできた研究内容を英語ポスターにまとめ、英語で論理的にスピーチをする練習を行った。
- ②国際理解研修 - 岡山市在住の韓国籍の方から韓国の文化や歴史などについて講義を受け、レポートにまとめた。

(2) 研修旅行

慶南科学高校訪問（課題研究発表会・交流行事）、晋州教育大学訪問（教育や日本と韓国の歴史についての講義を聴講）、科学技術系企業・研究所訪問（サムスン・斗山重工業他）等

(3) 事後研修

研修実施後レポートを作成し、学校祭での展示・発表を行った。

他国の学校との交流や相互協力の実施。（特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

中国高校生との交流

2011年10月21日、東アジア青少年大交流計画により生徒25人、引率教員3人の訪問を受け入れた。

交流内容

- ・吹奏楽部による歓迎演奏や歌やダンスのパフォーマンスなどの歓迎行事

- ・世話役の生徒（スクールバディ）と中国の生徒が二人組になり、化学・物理・生物・美術・書道・家庭・英語の授業への参加
- ・スクールバディの家でのホームステイ

韓国慶南科学高校との交流

- 日程：①2011年8月～4日 韓国訪問（生徒50人 引率6人）
②2011年12月21～22日 韓国生徒の日本訪問（韓国生徒30人 引率5人）
③2012年3月20～23日 韓国訪問（生徒50人 引率6人）

内容

①③は上記“韓国海外研修”を参照

②について

慶南科学高校の生徒と教員が本校を訪問し、本校の生徒とペアになって岡山大学、京都大学での共同授業、英語によるポスターセッション、学校見学等の交流を行った。また慶南科学高校と本校の間で協約を結び、今後も生徒や教員の交流や学術交流を継続していくことを取り決めた。

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）